

20 世紀少年だったぼくらの子どもの頃は、大氷河期がやってくるとか、ノストラダムスの大予言だとかが流行ったわけだが、1999 年 7 の月を過ぎても空から何も降って来ないで、何事も無く過ぎ去った…。

今は地球温暖化やら、マヤ暦の終わりとやらをやってるわけだが、おそらく何事も起きないのだろう。そりゃ遠い未来には、人類滅亡どころか地球だって太陽に飲み込まれて終わってしまうと言われているのだが、そんな先の話をお心配したってしょうがない。でしょう？

人類滅亡は先の話だろうけれども、商品業界滅亡は現在進行系の感じだ。**東京穀物商品取引所は解散の方向に向けて話し合い中らしく、大豆・コーンは東京工業品取引所に移管、コメ・小豆は関西商品取引所に移管するかもしれないようだ。**

移管先の東京工業品取引所だってゴールド以外の出来高は壊滅しているし、取引所はどこも大赤字。政府は総合取引所構想を掲げているわけで、商品も証券も金融も為替も全部一緒にさせるつもりらしい。そうなる商品市場も金融庁の管轄下に置かれる事になるようだ。

金融庁の管轄下になったって構わんが、ずいぶんと減ってしまった商品会社も大赤字。金融庁は結構やかましいお役所なので、果たしてそこで資本規制を行なったりすれば、生き残れる会社があるのかも定かじゃない。そして青色吐息の外務員にも、「あれしちやいかん、これしちやいかん」と更に締め付けが厳しくなるかもしれないし…。

大阪市役所でも国会でも、組合は高々 2 割ほどの給与の削減にも大反対だが、我々から見ればそんなものは可愛いもんだ。

当方、「100 億の男」という相場師のブログをプロデュースしたわけだが、取引所自体の出来高がピーク時の 10 分の 1 以下に落ち込んでいるので、当方の外務員収入もピーク時の 10 分の 1 以下だ。次は「10 分の 1 の男」でも作りたいくらいの状況だ…（苦笑）

元々、固定給なんぞ無い外務員の世界はオール・オア・ナッシングの世界なので、収入の激減に対する覚悟は出来ている。しかしいくら覚悟があろうが、覚悟だけじゃ飯は喰えない。だから生きる術をいろいろと考えるわけだ。

まさか強盗するわけにもいかぬから、「出来れば世間様に喜ばれ、かつゼニになる仕事」を作り出すのに日々努力する事になるわけだ。

もしも取引所や取引会社、外務員が全滅してしまったらと云って、**貨幣経済がある限り相場変動は無くならん。先物市場があろうがなかろうが、物の価格が上がり下がりするのは自然の摂理である。**太陽が必ず東から上がって、西に沈むのと同じだ。

ただ先物市場がなくなると、「少ない資金で大きく儲ける」というシステムがなくなるわけだ。これはつまらん。

商品市場が滅亡寸前から起死回生の急反騰が出来るのかどうか、そのままニホンオオカミのように滅ぶのか、最後まで見ていないと判らん。取りあえず今は、最期まで見届けるつもりだ。

〔貴金属〕

今週の金の値動き

	2月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
1月23日	¥4,146	35	¥4,145	30
1月24日	¥4,156	10	¥4,159	14
1月25日	¥4,184	28	¥4,189	30
1月26日	¥4,270	88	¥4,274	85
1月27日	¥4,257	-13	¥4,262	-12
1月30日	¥4,273	16	¥4,278	16
1月31日	¥4,260	-13	¥4,265	-13
2月1日	¥4,259	-1	¥4,260	-5
2月2日	¥4,283	24	¥4,290	30
2月3日	¥4,316	33	¥4,322	32

金相場は、1/22号においては『昨年末大納会の3,800円は底だと考えるが、買うなら2番底を取りに行く場面で仕込みたい。ここからの高値は利食い売りであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、4,300円台まで上昇。大納会の安値からは500円超の上げ幅となり、大した押しは未だ出ていない状況だ。

○東京金日足

…削除済み…

3,808円(12/30) → 4,323円(2/3)まで515円幅の上昇中。

先週号の縮小版でも「今年も金は買い相場なのだろう。どこまで上がるのか?というよりは、とにかく安い場面は買っておかないとしょうがないのだろう」としたが、現状では「押し目待ちに、押し目無し」の状況だ。

しかし結論から先に言えば、相場なんだからどこかで下がるでしょう。大納会が底だったのだから、節分天井ならばきりが良い。夜間取引ではちょっと下げているが、火曜も安いようなら調整局面入りすると考えている。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥3,763	2月24日	¥4,750	9月7日	¥3,535	3月18日	¥4,316
2012年4月	¥3,970	4月26日	¥4,751	9月7日	¥3,807	12月30日	¥4,321
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,324
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,323
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,510	11月9日	¥3,808	12月30日	¥4,322
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,323	2月3日	¥3,808	12月30日	¥4,322

○NY金日足(2/2現在)

…削除済み…

週末2/3のNY市場は、前日比18.9ドル安の1737.9ドル。高値は1761.3ドルまで出て、安値も1724.5ドルと上下36.8ドルの動きで、終値が上記である。国内換算では15時半比34円安だが、もちろんその価格は夜間取引ですすでに出ている。

相対力指数は前日すでに70ポイントを超えており、なお大相場に突き進むのなら別だが、一

押しする時期としてはちょうどいいのでは？との判断でもある。

CFTC 発表の 1/31 現在のファンドのポジションは、…中略…

また 2/3 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、ファンドも現物も買い気は旺盛であり、大勢は買い相場なのは間違いないだろう。しかし皆がそう思うと下がるのが相場であり、そろそろ大きな調整が出るだろうとの判断である。

今週のプラチナの値動き

	2月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
1月23日	¥3,785	26	¥3,807	19
1月24日	¥3,851	66	¥3,877	70
1月25日	¥3,884	33	¥3,907	30
1月26日	¥3,950	66	¥3,966	59
1月27日	¥3,982	32	¥4,005	39
1月30日	¥3,957	-27	¥3,973	-32
1月31日	¥3,969	12	¥3,990	17
2月1日	¥3,899	-70	¥3,918	-72
2月2日	¥3,969	70	¥3,989	71
2月3日	¥3,999	30	¥4,023	34

プラチナ相場は、1/22 号においては『昨年末の安値で底を打っている相場であり、押し目買いを継続する相場であろう。出来れば急落してくれれば、仕込み易い価格になるのだが』とコメントした。

今週の相場展開は、4,000 円台回復で 1/27 には 4,055 円まで上昇。2/1 には一度急落したが、すぐに切り返して再び 4,000 円台である。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

3,376 円 (12/30) → 4,055 円 (1/27) まで 679 円幅の上昇。その後は乱高下で、さて今後は押しが先か？そのまま高値追いか？という場面。

週末の NY 市場では、…中略…

昨年とはとにかく、金は強いがプラチナは弱いというトレンドだったわけだが、それが年末のダメ押しで終わったと考えているわけで、徐々にサヤも通常に近づきつつある。

如何にプラチナは工業用需要が多いとはいえ、その希少性は金と同等か、あるいは上回るというのが世間のコンセンサスだろう。また金よりも高くなっても、全然不思議じゃあるまい。

一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥4,817	2月24日	¥4,997	4月11日	¥3,351	12月30日	¥3,999
2012年4月	¥4,826	4月26日	¥4,921	5月6日	¥3,363	12月30日	¥4,011
2012年6月	¥4,445	6月28日	¥4,770	8月23日	¥3,370	12月30日	¥4,012
2012年8月	¥4,581	8月29日	¥4,726	9月7日	¥3,380	12月30日	¥4,021
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,199	11月9日	¥3,375	12月30日	¥4,023
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,055	1月27日	¥3,376	12月30日	¥4,023

○白金－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,023円（プラチナ）－4,322円（金）＝－299円。

－500円以上の逆ザヤで2番底を付けたサヤは、－200円台まで縮小。すでに一目均衡表の雲の上に出るトレンド転換であり、いずれは上ザヤになりそうだ。

結論として当方の相場観は、急落する場面があれば買い仕込む相場であろう。高値飛び付き買いはしたくないが、いずれは金よりも高くなるのではあるまいか。

〔穀物〕

今週のコーンの値動き

	3月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
1月23日	¥24,100	100	¥22,330	-110
1月24日	¥24,010	-90	¥22,420	90
1月25日	¥24,510	500	¥22,870	450
1月26日	¥25,260	750	¥23,070	200
1月27日	¥25,380	120	¥23,060	-10
1月30日	¥24,630	-750	¥22,890	-170
1月31日	¥24,610	-20	¥22,850	-40
2月1日	¥25,000	390	¥23,070	220
2月2日	¥24,510	-490	¥23,050	-20
2月3日	¥24,800	290	¥23,080	30

まずはコーンから…

1/22号においては『ファンダメンタルズはそんなに悪くないが、インパクトのある買い材料も無いので、おとなしい相場展開が続くだろう。残念ながら新春の穀物相場は、あまり妙味がなさそうだ』とコメントした。

今週の相場展開は、23,420円(1/27)まで上昇はしたものの、そこからは息切れ。23,000円前後での動きが続いている。

○東京コーン日足

…削除済み…

21,000円台は底ではあろうが、現状ではまだ24,000円を目指すのも困難そうで、せいぜいが1,000円~2,000円幅の動きである。

逆ザヤ相場であるゆえ、狙いは買いの方が無難であろうが、今年の米国は作付面積も多そうであるため、天候異変が騒がれなければ上値も重そうである。

今は南米の干ばつ懸念で動いている相場であるが、アルゼンチンの生産高は下方修正されそうである。

穀物相場恒例の2月崩しが来てくれれば買いを考えては見たいが、南米材料だけで大暴騰はしないと思われるので、焦らずに仕込み場を考えたい。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年3月	¥26,850	2月16日	¥28,980	4月11日	¥22,050	11月28日	¥24,800
2012年5月	¥27,970	4月18日	¥29,360	4月21日	¥22,000	11月28日	¥24,600
2012年7月	¥28,180	6月16日	¥28,560	8月30日	¥22,110	12月15日	¥24,640
2012年9月	¥27,440	8月16日	¥28,550	9月13日	¥21,930	11月28日	¥24,310
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥24,750	11月10日	¥21,110	1月1日	¥23,310
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥23,420	1月27日	¥21,650	12月16日	¥23,080

○シカゴコーン日足(2/2現在)

…削除済み…

週末2/3のシカゴ市場は、中心限月の3月限で前日比1.50セント高の644.50セント。国内

換算では 15 時半比 150 円高である。

6 ドル台半ばまで戻っているわけだが、5 ドル台は当面の底としても、7 ドル台まで駆け上がる勢いがあるのかどうかはまだ疑問。

なお CFTC 発表の 1/31 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、2 月崩しが出たら買い仕込みたいが、現状では手出しする気にならない。様子見である。

今週の大豆の値動き

	2 月限(当限)	前日比	12 月限(先限)	前日比
1 月 23 日	¥33,100	-130	¥38,850	-10
1 月 24 日	¥33,000	-100	¥38,900	50
1 月 25 日	¥33,100	100	¥39,650	750
1 月 26 日	¥33,400	300	¥39,750	100
1 月 27 日	¥32,720	-680	¥39,310	-440
1 月 30 日	¥32,050	-670	¥39,060	-250
1 月 31 日	¥32,600	550	¥38,670	-390
2 月 1 日	¥33,300	700	¥38,750	80
2 月 2 日	¥33,800	500	¥39,090	340
2 月 3 日	¥33,000	-800	¥39,320	230

続いて一般大豆です…

1/22 号においては『外部環境の好転で下抜けは回避されたが、大豆自体に買い材料は無い。まだ買える相場ではないだろうから、当面は離れて見ているのが良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、1/27 には 4 万円台を一時回復したものの、すぐに息切れして元の木阿弥。週末に掛けては再び強張って終了である。

○東京大豆日足

…削除済み…

週末のシカゴ市場はアルゼンチンの減産を囃して上昇しており、東京 15 時半換算では 610 円高。

しかし最近では、シカゴ以上に相場が硬直化している東京市場であり、シカゴが上がろうが下がろうが、応分の出来高が伴わない東京はあまり動かない。

コーンとは違って、大きく順ザヤになっている事もサヤ滑り懸念を発生させるため買い気を削ぐし、さて思ったとおりに動いてくれるかどうかは疑問だ。

そうなるとやはり、しばらくは手出し無用としか言いようがない。…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥51,280	2月16日	¥52,780	4月11日	¥31,400	11月28日	¥33,000
2012年4月	¥50,170	4月18日	¥51,180	4月21日	¥31,200	12月16日	¥33,280
2012年6月	¥49,820	6月16日	¥49,910	9月5日	¥33,600	12月16日	¥35,590
2012年8月	¥47,450	8月16日	¥50,110	9月5日	¥35,610	12月15日	¥38,280
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥44,250	10月17日	¥36,410	12月15日	¥38,790
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥40,180	1月27日	¥36,830	12月16日	¥39,320

○シカゴ大豆日足 (2/2 現在)

…削除済み…

週末 2/3 のシカゴ市場は、3月限で 15.50 セント高の 1232.50 セント。東京市場 15 時半比では 610 円高である。

12 ドル台を割れてもすぐに戻っている展開だが、13 ドル台まで駆け上がるには力不足の感は否めない。

なお CFTC 発表の 1/31 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、この値位置では買いたくも無し、売りたいも無しである。どちらかと言えば、吹き値売りに分があると思うが、それは一段高があったら考えてみたいところ。

[ゴム]

今週のゴムの値動き

	1月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
1月23日	291.0	-6.9	306.0	-8.5
1月24日	296.0	5.0	314.2	8.2
1月25日	302.0	6.0	320.7	6.5
	2月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
1月26日	307.6	1.6	323.8	
1月27日	302.8	-4.8	316.4	-7.4
1月30日	298.2	-4.6	310.3	-6.1
1月31日	301.5	3.3	314.9	4.6
2月1日	303.0	1.5	316.6	1.7
2月2日	296.5	-6.5	311.1	-5.5
2月3日	297.5	1.0	314.7	3.6
1月20日	297.9	9.4	314.5	9.4

1/22号においては『戻り売り人気が強くなり過ぎたのか、人気の裏目が出て上値抵抗戦を突破。一気に35円の急騰を演じたが、強気が増えれば今度は逆の目が出るだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、320円台半ばまで上昇した後、調整局面入りして推移している場面。

○東京ゴム日足

…削除済み…

年明けの258.7円(1/5)→324.6円(1/26)までの上昇幅は65.9円にも及び、ピンで30万円以上の値動き。

その後は小休止の状況であり、さてこれから相場はどちらに向くのか?という場面である。

タイの市場介入については、完璧にうまくいったとして330円~340円が上値の目処だろうと思われる。よって320円からだとも10円から20円程度の期待利益しか望めないわけで、当方はそろそろこの反騰相場は終了するだろうとの考えだ。

300円そこそこまで下落すれば、チャートは三尊天井型になるわけで、仮にその340円を目指すとしても、深い押しが入るのが先ではないかと読む。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年1月	383.8	7月26日	396.5	7月27日	244.0	11月11日	295.0
2012年2月	362.2	8月26日	379.0	8月31日	246.0	11月11日	297.5
2012年3月	318.7	9月27日	327.9	10月17日	247.5	11月11日	301.0
2012年4月	292.5	10月26日	316.2	10月28日	248.6	11月11日	304.6
2012年5月	266.0	11月25日	319.5	1月26日	256.9	1月5日	308.7
2012年6月	279.6	12月22日	322.3	1月26日	258.7	1月5日	312.2
2012年7月	324.0	1月26日	324.6	1月26日	307.5	1月31日	314.7

当先のサヤは、2月限297.5円~7月限314.7円と17.2円の順ザヤ。順ザヤ幅は若干拡大。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、1/20 現在で 624 トン増の 14,422 トン。増加傾向である。

上海ゴム在庫は、12/30 以降は未入電。

上海ゴム価格は、…中略…

結論として当方の相場観は、320 円台からの上値はしれているだろう。タイの市場介入はまだ行われておらず（2 月半ば予定）、そろそろ材料出尽くしではあるまいか？ 売り狙いである。

〔石油製品〕

今週の原油の値動き

	1月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
1月23日	¥53,420	-490	¥51,600	-970
1月24日	¥53,550	130	¥51,960	360
1月25日	¥53,600	50	¥52,460	500
1月26日	¥53,530	-70	¥52,510	50
1月27日	¥53,530	0	¥52,020	-490
1月30日	¥53,390	-140	¥51,740	-280
1月31日	¥53,470	80	¥51,660	-80
	2月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
2月1日	¥52,500	-230	¥51,300	
2月2日	¥52,820	320	¥51,450	150
2月3日	¥53,110	290	¥51,670	220

まずは原油から…

1/22号においては『週末の夜間取引では下げてしまったが、5万円は簡単に割れないだろう。いずれは上に向かうと思うが、53,000円と来れば青天井になって行くと考える。押し目買い方針である』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は96ドル台まで軟化。ただし週末は戻している。

東京原油は、51,000円そこそこまで下げた場面もあったが、概ね狭いレンジでのラリー。

○ NY原油日足 (2/2 現在)

…削除済み…

週末2/3のNY市場は、前日比1.48ドル高の97.84ドルで終了。国内換算では820円高である。

年明けに103.74ドル(1/4)まで上昇して上放れしたのだが、そこが売り場になって今はまた100ドル割れ。

だが金融商品化した原油相場は、あまり崩れると金融市場に悪影響が出るようで、逆にあまり上がると実体経済に悪影響が出ると言うことで、今はこの辺でもみ合いしているのが皆の利害に一致しているようだ。

ここはそう割り切って、大きく上げたら売り、大きく下げたら買いの逆張り相場と考えるのが無難だろう。

なお1/31現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

週末の北海ブレントは114ドル台、ドバイ原油は112ドル前後であり、NY原油が軟化しているのとは逆に強含みで推移している。

よって東京市場はあまり下がらんわけで、下げても5万円など簡単に割れそうもないし、逆に53,000円と来れば吹き上がっても不思議ではない。

もっともその上に抜ける時というのは、下手すりゃホルムズ海峡封鎖が材料かもしれず、日本経済にとっては何も良い事がない状態である可能性もある。まあ保険のために、原油の買いは持っていた方が無難かもしれない。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年1月	¥54,590	8月1日	¥55,780	8月2日	¥44,840	10月5日	¥53,470
2012年2月	¥52,500	9月1日	¥53,930	1月13日	¥44,550	10月5日	¥53,110
2012年3月	¥45,770	10月3日	¥53,710	1月13日	¥44,390	10月5日	¥52,740
2012年4月	¥50,630	11月1日	¥53,460	1月13日	¥48,130	12月19日	¥52,490
2012年5月	¥51,720	12月1日	¥53,200	1月13日	¥47,910	12月19日	¥52,160
2012年6月	¥51,590	1月4日	¥52,960	1月13日	¥51,100	1月4日	¥51,910
2012年7月	¥51,290	2月1日	¥51,780	2月2日	¥51,040	2月3日	¥51,670

結論として当方の相場観は、大きな下落は無いだろう。押し目買い継続で、万が一の青天井相場に備えるのがベターであろう。

今週のガソリンの値動き

	2月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
1月23日	¥63,100	-580	¥65,660	-730
1月24日	¥63,310	210	¥65,960	300
1月25日	¥63,460	150	¥66,480	520
	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
1月26日	¥65,060	200	¥68,730	
1月27日	¥64,750	-310	¥66,230	-500
1月30日	¥64,720	-30	¥65,890	-340
1月31日	¥64,570	-150	¥65,570	-320
2月1日	¥64,930	360	¥65,570	0
2月2日	¥65,050	120	¥65,490	-80
2月3日	¥65,400	350	¥65,610	120

続いてガソリンです…1/22号においては『チャートは力強い押し目買いを示唆。ここは素直にそれに従ってみたい。押し目買い方針である』とコメントした。

今週の相場展開は、1/27には67,000円台まで上昇したが、その後は軟化して一時65,000円割れもまた出た。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

チャートでは完全に上放れした後、また調整局面入りである。しかしここからの大きな下げは考えづらく、何かのきっかけがあれば再び相場は高値追いつける可能性の方が高いだろう。

一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥66,600	7月26日	¥66,800	7月27日	¥55,500	10月5日	¥63,310
2012年3月	¥61,280	8月26日	¥65,910	1月13日	¥55,800	10月5日	¥65,400
2012年4月	¥58,900	9月26日	¥67,190	1月20日	¥57,260	10月5日	¥66,830
2012年5月	¥62,380	10月26日	¥67,950	1月26日	¥59,350	11月22日	¥66,860
2012年6月	¥61,020	11月28日	¥67,540	1月26日	¥60,510	12月19日	¥66,490
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥67,220	1月26日	¥62,500	12月30日	¥66,020
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥67,030	1月27日	¥64,920	2月3日	¥65,610

2/3 現在の業者間転売価格は、…中略…

1/28 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買い継続の相場であろう。押したところを拾っておけば、いずれ花咲く春にあうだろう。

今週の灯油の値動き

	2月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
1月23日	¥67,840	-510	¥62,280	-730
1月24日	¥68,880	1040	¥62,750	470
1月25日	¥69,420	540	¥63,300	550
	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
1月26日	¥67,840	200	¥63,600	
1月27日	¥67,310	-530	¥62,880	-720
1月30日	¥67,130	-180	¥62,560	-320
1月31日	¥66,520	-610	¥62,140	-420
2月1日	¥66,130	-390	¥62,170	30
2月2日	¥66,190	60	¥62,250	80
2月3日	¥66,910	720	¥62,640	390

最後に灯油です…1/22号においては『原油・石油製品相場の中では灯油だけ売り方針。それはチャートの悪さと過剰在庫からそう見ているわけで、それが変化した場合はその限りではないが、現状では戻り売り方針を堅持』とコメントした。

今週の相場展開は、ガソリンの多くの限月が新高値更新をしてゆく中で、灯油も連れ高はするものの、一時的なもので終了。軟化する時はガソリンよりも大きく下げる図式である。

○東京灯油日足

…削除済み…

64,000円から頭の重い展開が続いており、チャートはガソリンが押し目買いを示唆しているのと反対に、若干下向きの情勢となっている。

これは在庫が過剰になっている事が主因であり、また今は冬場の需要期であるが、先物市場ではすべての限月が不需求期のものとなっているためである。

次に9月限が先物に建てば状況も多少変化するだろうが、これは灯油相場の習性なのだからしょうがない。もちろん原油価格が急騰すれば灯油も上がるのは当然だが、それなら原油を買っておいた方がマシという事である。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥69,790	7月26日	¥69,840	7月26日	¥59,980	10月5日	¥68,550
2012年3月	¥64,150	8月26日	¥68,050	1月26日	¥58,670	9月26日	¥66,910
2012年4月	¥59,490	9月26日	¥66,770	11月9日	¥57,250	10月5日	¥65,210
2012年5月	¥61,740	10月26日	¥66,310	11月9日	¥59,010	12月19日	¥63,700
2012年6月	¥62,400	11月28日	¥64,810	12月6日	¥58,700	12月19日	¥62,780
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥64,030	1月6日	¥50,660	12月30日	¥62,620
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥64,100	1月26日	¥61,870	2月3日	¥62,640

2/3 現在の業者間転売価格は、…中略…

1/28 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、記録的な降雪で在庫はだいぶ捌けて来た。買う気は起きないものの、下値も限定的になったかもしれない。ぼちぼち撤退の時期であろう。

[為替]

○ ドル/円相場日足

…削除済み…

あつという間にまた円高/ドル安になった格好であり、市場はまた介入がどこで入るかを試す展開になりそうだ。

○ ユーロ/円相場日足

…削除済み…

97.02 円 (1/16) →102.20 円 (1/22) まで円安/ユーロ高となったが、再び 100 円前後のもみ合いに。

結局ユーロが変われたのは、単なる利食い&指数調整であったということなのだろう。そりゃそうだ。ユーロが上がる材料なんぞ無いからねえ…。

○ ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

こちらもユーロが反発してドル安になった格好であるが、ちょうど一目均衡表の雲で抵抗を受けているのが現在の姿。

米国の経済指標は失業率の低下など意外に良く、これではまたドル高/ユーロ安に向かうんではあるまいか。

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com